

2020年2月14日

各位

会社名 NISSHA 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
 (コード番号 7915 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原勇人
 (TEL. 075-811-8111)

連結業績予想との差異に関するお知らせ

2019年11月8日に公表いたしました2019年12月期通期(2019年1月1日～2019年12月31日)の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2019年12月期通期連結業績予想数値との差異(2019年1月1日～2019年12月31日)

| | 売上高 | EBITDA | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------|----------------|--------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 173,000 | 百万円 6,000 | 百万円 Δ3,800 | 百万円 Δ5,000 | 百万円 Δ2,100 | 円 銭 Δ42.07 |
| 実績値(B) | 173,189 | 5,221 | Δ4,307 | Δ4,696 | Δ4,131 | Δ82.77 |
| 増減額(B-A) | 189 | Δ778 | Δ507 | 303 | Δ2,031 | |
| 増減率(%) | 0.1 | Δ13.0 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期実績(2018年12月期) | 207,404 | 17,343 | 8,080 | 7,380 | 4,318 | 85.70 |

(注) 2019年12月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期実績(2018年12月期)の数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

なお、EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

差異が生じた理由

売上高は概ね想定通りに推移しました。EBITDA、営業利益は産業資材事業において一部の海外工場の収益性の改善が限定的だったことなどにより前回予想を下回りました。経常利益は、これらの影響があった一方で為替差益を計上したことから前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は2019年12月2日に公表しました「合弁解消および特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、中国の合弁会社との合弁関係を解消し一時費用を計上したことなどにより、前回予想を下回りました。

以上